

平成24年度～平成26年度

出雲市 高齢者福祉計画 介護保険事業計画 第5期 が決まりました



出雲市では、高齢者の尊厳保持と自立支援のために地域で支えあう、住民主体の『共に生き、共に支える社会』の実現をめざします。

今回策定した計画は、3期（H18～20年度）、4期（H21～23年度）計画の延長線上に位置づけられ、平成26年度までの目標を達成する仕上げの計画であるとともに、平成27年度以降における*「地域包括ケア」を見据えた新たな視点での取り組みをスタートさせる計画です。

*「地域包括ケア」…日常生活圏域（出雲市では中学校区を1つのエリアとして設定）の中で、住まいを基本に、医療、介護、予防、生活支援を一体的に提供すること。

変わります

介護保険料

一人ひとりの保険料は介護保険の大切な財源です 社会全体でこの制度を支えています

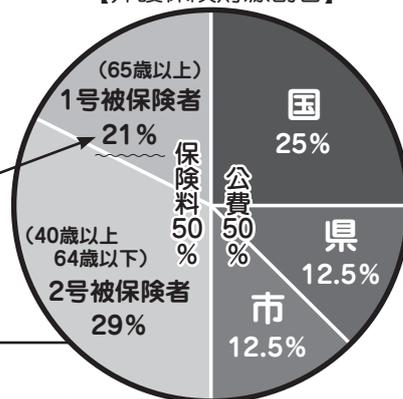
第5期(平成24年度～平成26年度)の

65歳以上の方の保険料基準額は **5,420円(月額)**です

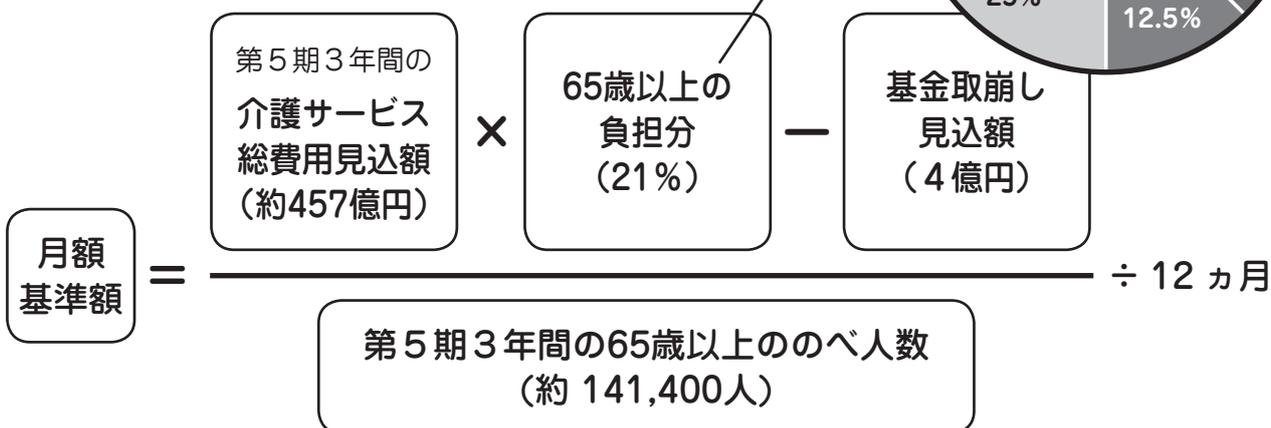
制度が定着するに従って、介護給付の費用やサービス利用者の数も増加してきています。

65歳以上の方の保険料は、第5期計画で見込んだサービス給付費等の費用額がまかなえるよう算出しています。第4期と同じく、所得に応じた負担となるように8段階の保険料に分けています。（保険料の詳細は広報いずも8月号に掲載します）

【介護保険財源割合】



<介護保険料算出の考え方>



*一人ひとりのご負担が少しでも小さくなるように基金取崩しを行います。（取崩し見込額：4億円）

～住み慣れた地域で暮らし続けるために 高齢者の生活を支援する体制づくりを推進します！～

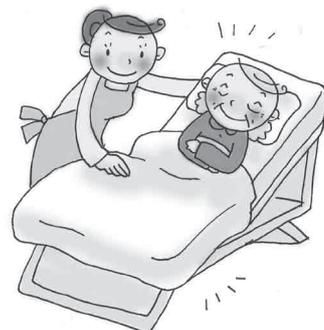
おもな取り組み

今後もさらに高齢化が進み、介護が必要な高齢者が増えると予測しています。
要介護・要支援状態にならないよう介護予防重視型の事業を重点的に推進します。

★施設等整備計画

—地域バランスを考慮し、
未整備地域や待機者の多い圏域を中心に整備を進めます—

- ◆介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） … 30床
- ◆介護老人保健施設 … 30床
- ◆認知症対応型共同生活介護（グループホーム） … 108床
- ◆小規模多機能型居宅介護 … 2か所
- ◆特定施設入居者生活介護（介護付有料老人ホーム等） … 150床



★「高齢者あんしん支援センター」の支援強化

出雲市社会福祉協議会内にあり、高齢者の生活を総合的に支援する機関です

- ◆自立して生活できるように支援します
(介護予防普及啓発、要介護状態にならないための予防・重度化防止等)
- ◆高齢者のみなさんの権利を守ります
(高齢者虐待の早期発見・相談等、成年後見制度の紹介)
- ◆高齢者の総合相談窓口として専門スタッフが支援します
(社会福祉士、主任ケアマネジャー、保健師等)
- ◆さまざまな方面から高齢者のみなさんを支えます
(ケアマネジャーの実践力向上支援、関係機関とのネットワークづくり)

★介護予防事業の推進

—運動習慣の普及による健康づくり、介護予防の推進—

- ◆豊かな高齢期を過ごすために壮年期から継続した健康づくりを支援します (いきいきUP!健康教室)
- ◆いきいきとした生活をおくるために介護予防教室を開催します
(総合型介護予防教室〈いきいき体操教室〉、筋力向上トレーニング教室、水中運動教室、軽度うつ・閉じこもり改善教室)
- ◆自主的な健康づくり、介護予防の実践の場である、ふれあいサロン活動を支援します



★認知症高齢者への支援強化

—認知症になっても安心して暮らせる地域づくり—

- ◆認知症コーディネーターを高齢者あんしん支援センターに配置します
- ◆地域における認知症支援ネットワークづくりを推進します
- ◆地域に合った認知症予防教室を行います

介護保険制度の概要は、この広報と同時配布の保存版パンフレット「共に生き、共に支える 介護保険」をご覧ください!

おたずね／高齢者福祉課 (TEL 21-6972) または各支所健康 (市民) 福祉課へ